



わらしべの里通信

夏の変わらないたのしみ・・・



ビンゴゲームを楽しむ仲間たち

遠くに入道雲が見える青空、程よい湿気もあった8月2日の午後、仲間たちが食堂に「今日も、暑いな」といいながら、集まってきました。ほどなく、司会者がアイスを食べる会の開会を告げると、この日を待ちわびた人たちが沸き起こる拍手。会は当時の仲間の会役員が熱中症予防対策として発案して今年で、4回目。これまでの3回はボーリングや風船バレーなどで身体を動かしてから開催されていましたが、今年は食べる種類の色の折鶴をもらうことが出来るビンゴで大熱狂しました。ビンゴカードが配られ、次々に読み上げられる数字・・・うまく数字が並んで最初に「ビンゴ」と叫んで袋の中からさっと折鶴を取る仲間もいれば、なかなか縦・横・斜めの5つの数字がそろわず叫べない仲間もいました。オレンジ、茶色、赤、青、紫、緑の折鶴が仲間全員にいきわたるまで、続けられました。



かき氷をおいしそうに食べる仲間たち

「アイスを食べる会」開催される



いきわたったところで、玄関から袋を大切そうに抱えた支援員さんがやってきて、「なんだ、なんだ」と声が聞こえ始めたところで次々に名前を呼ばれ、折鶴の色に似たオレンジ味、コーヒー味、イチゴ味、ソーダ味、ぶどう味、メロン味のかき氷が配られ、テーブルごとにおいしそうにほおばり、至福のひとときを過ごしていました。

折鶴は持ち帰ることもでき、みんな喜んでいました。特に、「お母さんに見せてあげるんだ」とまんべんの笑顔で話してくれた男性の笑顔が、印象的でした。(混む)

第7期理事・監事決まる

9月14日(土)に、第38回評議員会ならびに第47回理事会が開催された。任期満了に伴う理事・監事の選任が議題にあり、左記のとおり承認された。

記

理事 金坂直仁 (理事長)

理事 本島 一男

(理事長職務代理者)

理事 金坂尚慶 (常務理事)

理事 渡邊全一

理事 小谷博

理事 大橋誠

監事 亀田幸夫

監事 片柳洋一

(敬称略)



※任期は、

平成25年10月1日～

平成27年9月30日の2年間。

法人ならびに「わらしべの家」の発展のために、ご協力をお願いします。



七夕の会・おりひめさんとひこぼしさんをお願いごと



みんなの願いが通じますように

もう少しで七夕の日がやってくる7月のある日、みんなで日頃から思っていることや夢を短冊に書きました。

14時から食堂で、仲間の会による「七夕の会」が開かれました。今年も、みんなの前で短冊を発表しました。「毎日わらしべに通い続けたい」、「作業を頑張りたい」、「みんなとなかよくしたい」、「仲間たちと旅行へ行きたい」、「封筒の印刷が増えますように」、「これから仕事が増えますようにお願いします」などを読んだ後に、願いを叶えてくれるように笹に短冊と飾りを付けました。ある仲間は、「恥ずかしかった」、「少し、緊張したけど無事に短冊を読めました」と、話していました。お菓子や

飲み物をみんなで楽しく食べる事もできました。

その後は、みんなで「きらきら星」の歌を歌いました。懐かしい童謡の曲もかけました。「線路はつづくよどこまでも」、「大きな古時計」、「めだかの学校」、「手のひらを太陽に」などの曲をかけた後、仲間は「懐かしい曲だ」、「この曲は知っているよ」と言ったり一緒に歌って会場が盛り上がりました。仲間は「とっても楽しかった」、「童謡が楽しかった」と、話していました。

七夕の日に、おりひめさんとひこぼしさんが来て、僕らが書いた願い事を読んでくれたかな……。 (PORI)



願いがかなうように短冊をつるす仲間



願いがたくさつとつるされた笹の葉

● 9月～10月の行事 ●

18日	17日	10日	20日
誕生会（4人）	仲間の会	スポーツ交流会	仲間の会 誕生会（1人）

朝晩、冷え込むようになって来たね

● これからの行事予定 ●

21日	7日	17日	6日	24日	20日	15日	14日	8日	11月
誕生会（3人）	仲間の会	誕生会（3人）	仲間の会 （みかんを食べながら） 新年の抱負を発表する会	1月の行事予定	クリスマス会	誕生会（2人）	仲間の会	日産労働クリスマスチャリティ公演	日帰り旅行

※月の第1金曜日は、レクリエーション、第3金曜日に、仲間の会・誕生会を仲間の会主催で行います。



「象つかいソムポット」が、わらしべの家にやってきた！



公演前に挨拶する金坂施設長

6月25日、わらしべの家・第2作業所で日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」主催チャリティーきゃらばん（巡回公演）が開催されました。この日は、周辺にのぼり旗がたち、2階には大きな舞台装置が組まれて、どこかの劇場にきたような錯覚が仲間たちを包んでいました。

公演は、おはなしキャラバン「つばさ」による「象つかいソムポット」。「象つかい」になるために、村にやってきた少年ソムポット。年寄いた象、ボナの世話をまかされ象にのる日を夢見る毎日。ある日、親方の心ないムチでケガをし、動けなくなってしまうボナ。そんなボナに見切りをつけた親方は、機械を使って仕

事を始めてしまいます。ところが……象のボナ、友達の野良ねずみ、チヨロや厳しい親方との出会いを通して、成長していくソムポット。動物と人間の心の交流を描いた、心あたたまると話でした。

人形劇の途中で、ねずみチヨロが等身大で現れ、PKゲームの開始。スポーツ好きの仲間は、大ハッスル！して、ゴールネットをゆらし、楽しんでいました。公演終了後、仲間の会会長が感謝の言葉を述べ、役員が粗品を渡し拍手に包まれる会場からそれぞれの持ち場へ戻ろうとした時、役者さんと人形たちが出てきて、別れを惜しむようにふれあっていました。（混む）



ゴールネットをゆらし、楽しむ仲間



ソムポットとお別れ…悲しいなあ



初夏の日差しを浴びていい気持ち



ごみを探して、笑顔で拾う仲間

曇り空で過ごしやすい陽気となった6月6日に、栃障協主催の恒例行事である清掃ボランティア（ゴミ拾い）を行いました。市内にあるいくつかの施設が集まりました。

当日、清掃する公園に着いたら、職員から仲間たちに軍手やゴミ袋を配られて、園内をいくつかの班に分かれて歩きながらゴミ拾いをしました。ゴミを見つけると、歩くのを止めて「ここにありました」、「あそこにあった」と言って拾いました。途中から太陽が顔を出し初夏の日差しを浴びていい汗を流しました。

最終目的地の「芝生広場」にすべての施設が一ヶ所に集まって、他の施設の仲間たちと一緒に楽しく、釣り竿で魚を釣

る新しいゲームを楽しみました。

そのゲームは、釣り竿の先と魚（絵）に磁石がつけてあり、なかなか釣れない仲間もいましたが、釣れた仲間たちは「釣れたよ」、「取れたよ」と嬉しそうでした。釣りが終わった仲間たちは、お菓子とジュースをいただきました。ある仲間は、「釣りが楽しかった」、「他の施設と交流ができて楽しかった」、「ごみは、少ししか落ちていませんでした。レクリエーションで魚が1回で釣れました。とても楽しかったです」と、話していました。

市内の施設の仲間たちと半日一緒に交流し、楽しい時間を過ごせました。（P. ORR）



魚釣りを楽しむ3人娘



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第32号(通巻46号)
 発行元 社会福祉法人わらしべの里
 発行責任者 金坂 直仁
 編集者 わらしべの家パソ工房
 〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
 電話 0282-27-1627
 Fax 0282-27-1675

E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)
 http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/

封筒のことならパソ工房にお任せ

〜 編集後記 〜

10月も半ばを過ぎ、朝晩の冷え込みが増してきました。今年は秋が短く例年より冬が寒いそうです。この時期を大切にしたいなと思います。

私は、秋の夜長をパソコンやネットで趣味の囲碁や将棋をしています。時間が経つのも忘れてしまうほど楽しく、また過ごしやすい季節なのだと感じます。こおろぎなどの虫の音が時々聞こえてきます。ああ：しあわせだなあと思う僕のひとときであります。

わらしべの家では、11月に日帰り旅行があります。みんなと出掛けるのは、とても楽しいです。

今年は、どこへ行くのだろうかと、今からとても楽しみにしています。（範）

